

吉野町 新川 村

本間 源三 氏



古
如
平
乾

山
心
集
用

鐵道ハ交通運輸ノ一大機關ニシテ實ニ文明ノ利器ナリ殖産依テ以テ
興リ興業資テ以テ振フヘキハ今更喋々ナ埃タスシテ明カナルモノト
ス我縣民カ山陽鐵道ノ速ニ馬關ニ全通センコトヲ渴望スルハ大早ノ
雲霓ニ於ケルモ管ナラス曩キニ明治廿七年全縣下ノ有志者カ其ノ希
望ヲ代表シテ貴衆兩議院ニ請願セルハ一般ノ同情ヲ表セル所ナリト
ス然レ共機尙ホ至ラズシテ其希望ヲ達スルヲ得サリシニ今ヤ漸ク將
サニ一兩年間ヲ期シテ三田尻マテ延長セシメントシ己ニ其ノ計設ニ
着手セルヲ以テ吾人幾年來ノ飢渴ハ僅カニ其ノ半ヲ醫シ得ントス而
モ豈之ニシテ止ムヘケンヤ益進ンテ一日モ早く彼岸ニ達セシムルノ
方策ヲ講セサルヘカラス其方策トハ如何曰ク當局者當事者ヲシテ其
必要ヲ感得セシムル一ナリ曰ク己ニ之ニ着手セルニ於テハ其ノ事業
ヲ贊助シテ成功ヲ容易ナラシムコト二ナリ其ノ第一ニ就テハ須ラク
其ノ向ニ事理ヲ徹底セシムルノ方法ニ出ツヘク其ノ第二ニ就テハ須
ラク己ニ着手セル部分ニ於テ贊助ノ實跡ヲ表明スヘシ而シテ其ノ第
一ニ於テハ前述ノ如ク廿七年ニ於テ己ニ之ヲ請願シ尙ホ本年縣下各
町村ヨリ續々其ノ手續ニ及ヒタリ今日希望ノ半ヲ得ントスルモ與ツ
テ力ナキニアラサルヘシ己ニ其請願ヲ爲セルニ於テハ之レカ事業ノ
容易ニ成功センコトヲ贊助スヘキハ其責任トシテ當ニ然ルヘキコト
トス若シ其ノ言ノ行爲ト相併行セサルニ於テハ誰カ其希望ヲ將來ニ
容納センヤ其ノ行爲ノ如何ハ右三田尻迄ノ工事ニ於テ實ニ之ヲ徵証
セラルヘシ然ラハ則チ該事業ノ成工ヲ贊助スルハ獨リ該延長工事ニ
對シ己ニ負フノ責任ナルノミナラス馬關迄全通上ノ遲速ニ影響ヲ及
ボスヘキ重大ノ關係ヲ有スルモノニシテ今日ノ場合ニ於テ第二ノ方
策ハ最モ注意盡力スヘキコトトス豈寒心警戒スヘキノ至リナラスヤ
況ンヤ鐵道ハ國家事業ニシテ其ノ敷設者ハ縱令私立社會タルモ其ノ
事業ノ性質効用ニ至リテハ決シテ變スルコトナシ既ニ國家事業タル
以上ハ之ヲ贊助シテ其ノ成工ヲ容易ニ且迅速ナラシムルハ是レ國民
ノ義務ト謂フヘシ抑モ國民ノ義務ヲ竭ス上ニ於テ敢テ他府縣ヲ下ニ
出テサルヘキハ我防長二州人士ノ特性トシテ自負スル所ナラスヤ夫
レ然リ然レ共縣下ノ廣キ關係者ノ多キ若シモ不遠慮ノ徒輩アリテ縣
下ノ面目ヲ汚シ且遠大ノ利益ヲ失ハシメントスルカ如キヲアリテハ
實ニ忍ヲ能ハサル次第ナルヲ以テ敢テ諸君ト相謀リ以テ萬一チ豫防
セシトス抑モ鐵道敷設上第一ノ必要ハ敷地用ノ土地トス若シ該土地
ノ買收上障礙ヲ生センカ百般ノ施設皆挫折ス吾人ハ之ニ向テ第一ニ
便利ヲ與ヘサルヘカラス其ノ方法如何曰ク先ツ該土地所有者ハ大凡
ソ普通賣買價ヲ標準トシ敢テ高價ヲ貪ラサルヲ旨トシ且又他ノ振合

ヲ願呵シテ故ヲニ賣渡ヲ遲延スルカ如キコトナカルヘキヲ要ス然レ
共若シ其ノ地方ニ於テ普通賣買價ヲ容易ニ知リ難キカ又ハ特別事情
ノ爲メニ萬一相互ノ要望相一致セサル等ノコトアラントモ慮カリ豫メ
各町村ニ於テ便宜若干ノ評價委員ヲ選定シ置キ相應ノ責任ヲ有シテ
公平ノ斷定ヲ付セシメ以テ無事ニ穩當ニ且速ニ其ノ局ヲ結ハシメ
コトヲ望ム前ニモ述ヘタル通り鐵道ハ國家事業ナルヲ以テ相互ノ私
約相諧ハサルニ於テハ國家ノ法力ヲ以テ之ヲ強制スルノ道アリテ結
局過高ノ代價ヲ貪ラントノ強慾ハ之ヲ遂クルヲ得サルヘキモ兎ニ角
國法ノ裁斷ニ訴フルカ如キコトアリテハ國民ノ義務タルニ對シ殊ニ
三州人士タルニ於テ尙且將來ノ大目的ヲ速ニ達成セントスルノ妨礙
トナル点ニ於テ誠ニ痛惜浩歎ノ至リニ堪ヘサル事柄ナリ故ニ此際土
地所有者諸君ハ勿論直接ニ間接ニ關係アル者及有志者諸君ハ共力一
致シテ自他ノ迷誤ヲ萬一ニ矯救シ以テ國家ニ對シ地方ニ對スルノ義
務ヲ了ヘ一面ニハ我二州ノ面目ト遠大ノ利益トヲ扶植セラレシコト
ヲ俯仰懇囑ノ至リニ堪ヘサルナリ抑此事タル皆ニ一地方ニ止マラス
一般同様ノ關係ヲ有スヘキ事柄ナルヲ以テ茲ニ會合協議シ各地一轍
ノ注意ヲ要シ聊カ微意ヲ布陳シテ貴下ノ盡力ヲ望ムコト爾リ

明治廿九年二月十八日

重 泰 治

國 光 雅 一 事業ハ
佐 藤 信 彦 與
野 村 恒 造 不谷
田 秀 夫 其 衆
古 谷 新一 作
宇 多 村 新 郎
本 間 源 三 郎
上 田 當 義 實
野 尙 義 輔
田 藤 介
雜 賀 敬 二 郎
田 護
田 護
田 護

奉 回 函 部 殿

鐵道ハ交通運輸ノ一大機關ニシテ實ニ文明ノ利器ナリ殖産依テ以テ
興リ興業資テ以テ振フヘキハ今更喋々ナ埃タスシテ明カナルモノト
ス我縣民カ山陽鐵道ノ速ニ馬關ニ全通センコトヲ渴望スルハ大早ノ
雲霓ニ於ケルモ管ナラス曩キニ明治廿七年全縣下ノ有志者カ其ノ希
望ヲ代表シテ貴衆兩議院ニ請願セルハ一般ノ同情ヲ表セル所ナリト
ス然レ共機尙ホ至ラズシテ其希望ヲ達スルヲ得サリシニ今ヤ漸ク將
サニ一兩年間ヲ期シテ三田尻マテ延長セシメントシ已ニ其ノ計設ニ
着手セルヲ以テ吾人幾年來ノ飢渴ハ僅カニ其ノ半ヲ醫シ得ントス而
モ豈之ニシテ止ムヘケンヤ益進ンテ一日モ早く彼岸ニ達セシムルノ
方策ヲ講セサルヘカラス其方策トハ如何曰ク當局者當事者ヲシテ其
必要ヲ感得セシムル一ナリ曰ク已ニ之ニ着手セルニ於テハ其ノ事業
ヲ贊助シテ成功ヲ容易ナラシムコトニナリ其ノ第一ニ就テハ須ラク
其ノ向ニ事理ヲ徹底セシムルノ方法ニ出ツヘク其ノ第二ニ就テハ須
ラク已ニ着手セル部分ニ於テ贊助ノ實跡ヲ表明スヘシ而シテ其ノ第
一ニ於テハ前述ノ如ク廿七年ニ於テ已ニ之ヲ請願シ尙ホ本年縣下各
町村ヨリ續々其ノ手續ニ及ヒタリ今日希望ノ半ヲ得ントスルモ與ツ
テ力ナキニアラサルヘシ已ニ其請願ヲ爲セルニ於テハ之レカ事業ノ
容易ニ成功センコトヲ贊助スヘキハ其責任トシテ當ニ然ルヘキコト
トス若シ其ノ言ノ行爲ト相併行セサルニ於テハ誰カ其希望ヲ將來ニ
容納セシヤ其ノ行爲ヲ如何ハ右三田尻迄ノ工事ニ於テ實ニ之ヲ徵証
セラルヘシ然ラハ則テ該事業ノ成工ヲ贊助スルハ獨リ該延長工事ニ
對シ已ニ負フテ責任ナルノミナラス馬關迄全通上ノ遲速ニ影響ヲ及
ボスヘキ重大ノ關係ニ有スルモノニシテ今日ノ場合ニ於テ第二ノ方
策ハ最も注意盡カヌヘキコトトス豈寒心警戒スヘキノ至リナラスヤ
況シヤ鐵道ハ國家事業ニシテ其ヲ敷設者ハ縱令私立社會タルモ其ノ
事業ノ性質効用ニ至リテハ決シテ變スルコトナシ既ニ國家事業タル
以上人ノ之ヲ贊助シテ其ノ成工ヲ容易ニ且迅速ナラシムルハ是レ國民
ノ義務ト謂フヘシ抑モ國民ノ義務ヲ竭ス上ニ於テ敢テ他府縣ノ下ニ
出テサルヘキハ我防長ニ州人士ノ特性トシテ自負スル所ナラスヤ夫
以然リ然レ共縣下ノ廣キ關係者ノ多キ若シモ不遠慮ノ徒輩アリテ縣
下ノ面目ヲ汚シ且遠大ノ利益ヲ失ハシメシトスルカ如キヲアリテハ
實ニ忍フ能ハサル次第ナルヲ以テ敢テ諸君ト相謀リ以テ萬一ヲ豫防
セシトス抑モ鐵道敷設上第一ノ必要ハ敷地用ノ土地トス若シ該土地
ノ買收上障礙ヲ生セシカ百般ノ施設皆挫折ス吾人ハ之ニ向テ第一ニ
便利ヲ與ヘサルヘカヲ其ノ方法如何曰ク先ツ該土地所有者ハ大凡
シ普通買買價ヲ標準トシ敢テ高價ヲ貪ラサルヲ旨トシ且又他ノ振合

